



NPO PTPL “ともいき” 便り No.70

平成 27 年（2015 年）2 月 19 日発行

■雨水（うすい） 2 月 19 日から 3 月 5 日までの節気

花屋さんの店先には菜の花や桃の花が並び、春の雰囲気になってきました。本来ならば、まだ登場するはずもないハウス育ちの花たちですが、寒さのなかにぽっと温かさを感じさせてくれます。節気は「雨水」へと入りました。「雪やあられが雨に変わり、氷や霜が融けはじめる」頃ですが、ともいき暦の「雨水」の映像を見ると、雪、雪、雪です。最後のカエデの木の寒そうなこと。（ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>）

2 月 23 日は「富士山の日」です。2(ふ)2(じ)3(さん) のゴロあわせです。「ともいき暦」の説明によると、「2001 年に山梨県富士河口湖町で条例化」されたそうです。富士河口湖町では、「富士山の日、記念花火大会」として毎年 2 月 23 日に夜 8 時から 20 分間、花火を打ち上げて啓蒙活動に力をいれているそうです。冬花火、いいですね。ご覧になった方、いらっしゃいますか。寒さを覚悟して、一度は見に行きたいものです。

3 月 3 日は上巳の節句、雛祭りです。由来については、「ともいき暦」をご覧ください。雛人形を飾られる方も多いと思います。我が家には、姉が生まれたときに祖母が買ってくれた 63 年前の雛人形があります。そして、私の息子が生まれたときに叔母が作ってくれた 35 年前の千代紙の雛人形もあります。雛祭りにはどちらも飾りますが、その他にも、内裏雛に見立てていろんな雛人形(?) を飾ります。例えば、小さな花瓶二つを用意して、一つには桃の花、もう一つには菜の花をいけて並べて置きます。ほら、お雛様の出来上がり。また、形のかわいい小石を二つ拾ってきます。洗ってきれいにしてから、一つには白い水引を、もう一つには赤い水引を美しく結んで、赤い千代紙の上に二つ並べれば、ほら、お雛様の出来上がり。おちょこを二つ。一つには桃色のひなあられを、もう一つには白色のひなあられをいれて、二つ並べれば、ほら、またお雛様の

出来上がり。“見立てる”ことは、想像力が刺激されてとても楽しいです。ちいさな子どもたちが、おままごをするときに、草花や実を食べ物に見立てて遊びます。そんな軽やかな感覚で、オリジナルのお雛様をつくって飾ってみてはいかがでしょうか。

先日、地元の商店街を歩いていたら、後ろから女の子の声が聞こえてきました。「いちめんのなのはな、いちめんのなのはな……」と繰り返しているのです。ひょっとして、山村暮鳥の?と思い、振り返ると、小学校高学年ぐらいの女の子が、お母さんと歩きながら、はっきりとした声で詩を暗唱しながら歩いてくるではありませんか。「わあ、いい感じ!」と嬉しくなりました。教科書で習っているのでしょうか。いちめんの菜の花が目に浮かびました。ここに、少し紹介します。

「風景」

山村暮鳥

いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
いちめんのなのはな
かすかなるむぎぶえ
いちめんのなのはな

「いちめんのなのはな」という言葉が 24 行続きます。その中の 1 行(全部で 3 行)だけ他の言葉が書かれています。私だったら、どんな一行をいれるだろうか……。考え始めたら、やめられなくなったので、ここらへんで、今回のともいきだよりを終わりにしたいと思います。いちめんの菜の花の季節は、もうすぐそこです。どうぞ、お元気でお過ごしください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

●旧元日は春の訪れを寿ぐ日、新春を祝う日です。

今年の旧元日は2月19日（木）です。中国・韓国・台湾では旧暦を重んじ、春節あるいは新春として春を迎え、お祝いの休暇に入ります。

日本でも、明治5年までは“立春”に一番近い朔（新月）の日を元日としていましたが、改暦後はこの意識は薄れてしまいました。

一千年以上続いた、伝統・文化・しきたりは大切にしたいものです。残念でありません。

日本でも、新暦の1月1日は新年を迎え祝い、旧元日は隣国と同様に春を迎え祝うように、伝統文化を復活させてはいかかなもののでしょうか。いま、外交において出口の見えないお隣の中国・韓国・台湾と春節を契機にして積極的な民間外交ができればと考えます。

NPO PTPL では旧元日を“ともいきの日”として提唱しています。

詳細は「ともいき暦」の2月19日をクリックしてください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

日本人の精神の基盤として、以下の3つを掲げて活動を展開しています。

- ① 共に生きる喜びの実感できる “ともいき” という価値観・生活観
- ② 内・外の知と技を和して新たな価値を共に生み出す “ともうみ” という想像力・創造力
- ③ 人びとが共に幸せに生る “ともさち” という倫理観・社会観

これらの3つの要素を隣国の人びとに理解してもらいこれを広め、隣国の人びとと一緒に新しいモノ・コト・文化を創り出し、隣国の人々と共に幸せになるための記念日と願っています。

ご賛同いただければ幸甚です。

●中国での春節（旧正月）は2月18日です。（日本との日付のズレは時差のためです。）

7日間の大型連休となり多くの中国からの訪日客が予想されますが、日本でも「ともいきの日」として春節を祝っているということを知れば、いろいろと会話も弾むことでしょう。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●2月23日は「富士山の日」です。「ともいき暦」には富士山関連の記念日・年中行事を一連の流れとして紹介しています。

6月30日の「北口本宮富士浅間神社で執り行われる富士山開山前夜祭」、7月1日の「富士山山開き」並びに「おらが富士月間」のスタート、8月26日の「富士:吉田の火祭り」です。

●お知り合いの方で「ジャパネスク」の考え方、在り方について興味のある方にご紹介・ご案内いただき同志を募り、そしてそこから生まれる様々な展開アイデアを反映できればと願っております。そのためにも、是非とも、「ジャパネスク」のサイトをご覧ください。「ジャパネスク」のサイトアドレスは <http://japanesque.tokyo/>です。内容は順次広く深くしていく予定です。

● 会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■ お問合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp